

80系200番台 旧性能直流電車

4X

共通組み立て説明書

Bトレインショーティは、Nゲージサイズのミニモデルです。
パーツを交換すればNゲージモデルとして遊ぶことができます。

Nゲージってナニ?

Nゲージとは、鉄道模型の縮尺(スケール)の規格で、ゲージ(軌間:レールとレールの幅)が9mmになっています。9=NineなのでNをとって「Nゲージ」と呼ばれています。(9mmゲージとも書きます)車両の縮尺は、多くの日本型車両は1/150、新幹線や外国型車両は1/160になっています。そして、この「Bトレインショーティ」もコレクタブルトイでありながら、Nゲージの規格に合わせた1/150スケールショーティとなっているので、KATO製品とのパーツ互換性もあり、動力ユニット等との簡単なパーツ交換でNゲージの線路上を走らせることもできます。また、それらのNゲージのパーツを使って、更なるディテールアップや改造も楽しめます。

*Bトレインショーティの最新情報はこちら→<http://B-train.channel.or.jp/>

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 鉄製の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起る場合があります。

〈使用上の注意〉

- 取付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

〈お買い上げのお客様へ〉

不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

バンダイお客様相談センター

(関東) 柏市豊四季241-22 ☎277-8511 ☎04-7146-0371
(関西) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎531-0072 ☎06-6375-5050
(中部) 名古屋市昭和区御器所3-2-5 ☎466-0051 ☎052-872-0371

- 電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く)10時～16時
- 電話番号はよく確かめてお間違いのないようご注意ください。

Nゲージのパーツ交換について

小さなお子様は保護者の方と一緒に加工してください。

Bトレインショーティは、Nゲージのパーツを取り付けることでNゲージの線路上を走行させたり、よりリアルにディテールアップさせたりすることができます。

■動力ユニットの取り付け

■機関車への動力ユニットの取り付け

* KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このとき、スカートは外してからシャーシと交換・装着します。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

■電車・気動車への動力ユニットの取り付け

* KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用すると、無加工でシャーシと交換・装着ができます。

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-107 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

* KATO製「チビ安車用動力ユニット」を使用する場合は、手ずりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。

品番11-104 チビ安車用動力ユニット

■トレーラー車への台車取付

* 床板には直接、ピン取り付け方式の各種台車を

取り付けすることができます。

* 旧床板を使用の場合は、床板の高さを右図を参考に切り取ってください。

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

通勤電車①

急行電車①

通勤電車②

コイルバネ台車タイプ

空気バネ台車タイプ

ポルスタレス台車タイプ

■パンタグラフの交換

* お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

品番11-401 PS14: 直流パンタグラフ

品番11-403 PS22: 直流下枠変形パンタグラフ

品番11-404, 11-420 PS16: 直流パンタグラフ

* ピン圧入方式の各種パンタグラフを取り付けられます。

*11-420は屋根穴が4個の屋根に対応します。

* 各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。
* トレーラー台車、パンタグラフなどの交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(緩い)ものもありますので、この場合はそれぞれ調整のうえ取り付けてください。

■新シャーシの組み立て

(上下を逆さまにして組み立てると楽です。前後2組の台車をそれぞれ組み立てます。)

- ① 床板に台車上台を、床板前縁の穴を取り合わせながら取り付けます。
- ② 台車上台の溝に車輪を配置します。
- ③ 台車上台にカブラーをセットします。(カブラーのマグネットには極性があります)
* 先頭車の前側にはダミーカブラーを使用してください。
- ④ 台車下枠の後部のツメを台車上台の穴に通して、さらに床板の溝に差し込みます。
- ⑤ 台車下枠のカブラーポケットのツメを台車上台のツメにパチンとはめ込みます。
* 台車下枠のセンターピン部を、床板の穴にしっかり押し込んでください。



⑥ 両サイドに台車レリーフを取り付けて完成です。



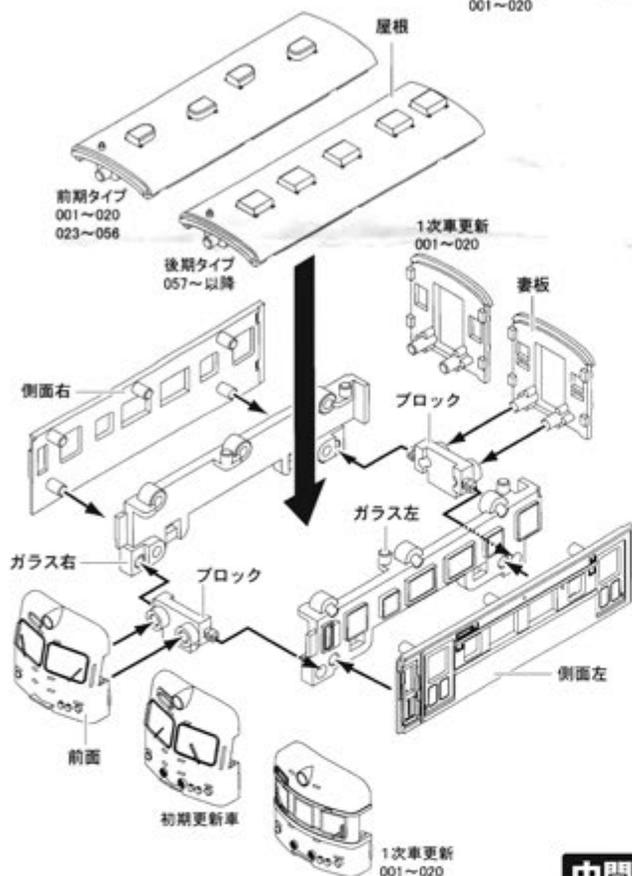
先頭車

先頭車 妻板



1次車更新
001~020

2次車以降



* 実車のクハ86の台車は001~060はTR45、061~以降がTR48。

■車体の組み立て

* 取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
*妻板の凸部をきちんとはめ込んでください。
- ⑤先頭車は前面を取り付けます。
- ⑥シャーシのつめに合わせて車体をかぶせて完成です。

正面について



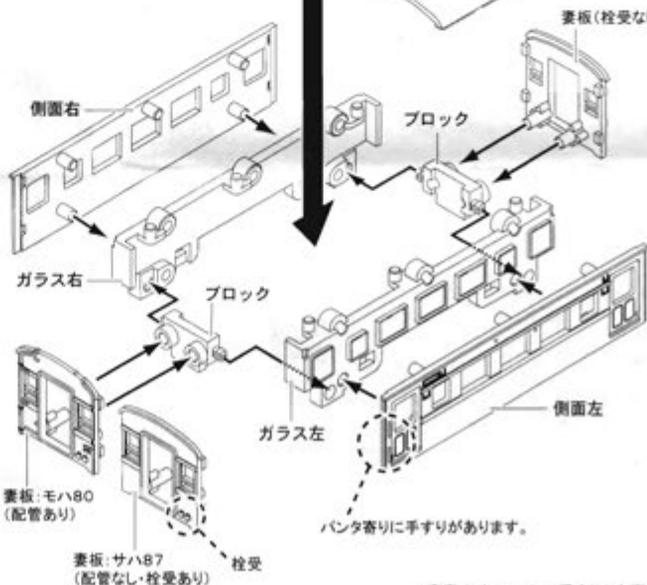
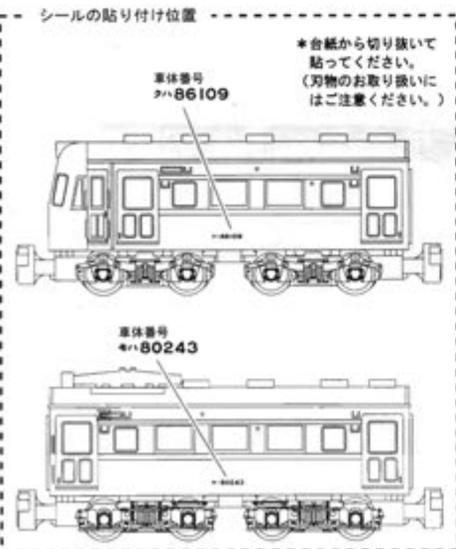
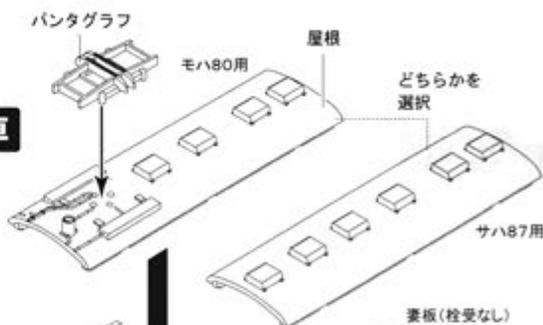
初期・更新車(023~066)
300番台タイプ(300~375)



S29年(067, 068)
S30年(069~084)
100番台タイプ(100~142)

* 300番台以降は運行窓が飛び出したスタイルとなっています。初期の車両のうち更新されたものは300番台と同じスタイルとされました。(タイフンの位置は更新車両によって異なります。)

中間車



* 実車のサハ87(100番台)の台車はTR48です。

